

(広報資料)



(特非) K E S環境機構
が8つ目の認定を
取得されました！

令和3年8月27日
京都市環境政策局

〔担当：環境企画部環境管理課〕
〔電話：075-222-3951〕

「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」の認定（第28号）について

京都市では、本市固有の生態系を保全するため、「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を推進しています。

この度、本制度に基づき、下記のとおり、ノハナショウブの保全について、新たに認定しましたので、お知らせします。

記

1 推進者（敬称略）

特定非営利活動法人K E S環境機構 代表理事 内藤 正明

2 概要

特定非営利活動法人K E S環境機構は、希少植物の生息域外保全に継続的に取り組まれ、これまでに7件（11種）の認定を取得されています。

本プロジェクトでは、京都市内のK E S審査・登録事業所に協力を呼び掛け、今年度から新たに12事業所でノハナショウブを育成されています。

3 ノハナショウブについて

ノハナショウブは、湿地や湿った草地に生えるアヤメ科の多年草で、様々な花色、花被片(かひへん)の形の変異があり、鑑賞性に富むことから、多様な園芸品種の作出に利用され、古くから人々の生活に親しまれてきました。

花期は5月～7月上旬で、紫色の花びらの基部に黄色い細かい筋の模様が入るのが特徴です。深泥池（京都市北区）などにわずかに残りますが、湿地や湿った草地の減少やシカの食害もあり希少になりつつあります。また、「京都府レッドデータブック2015」では、「準絶滅危惧種」に指定されており、府内で見られることが少なくなっています。



<参考>

1 「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」について

葵祭で使われるフタバアオイ、祇園祭の粽ちまきに欠かせないチマキザサ、八坂神社の「をけら詣り」で焚かれるオケラ及び源氏物語に登場する藤袴（ふじばかま）など、本市の伝統文化を育んできた本市固有の生態系の保全を図ることを目的として、京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生を実施する団体の取組を認定するとともに、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣します。

詳しくは以下の URL 又は二次元コードから御覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kanky/page/0000187608.html>



2 取組状況

市内236事業所が取組を進めた結果、保全対象種は53種類まで広がり、全体として655の保全取組が推進されています。

取組状況の一覧（令和3年8月27日現在）

保全対象種		保全取組数	保全対象種		保全取組数
1	フタバアオイ※	160	28	カリガネソウ	1
2	フジバカマ※	118	29	カワラサイコ	1
3	ヒオウギ※	95	30	キブネダイオウ	1
4	キクタニギク※	80	31	ギフチョウ	1
5	カワラナデシコ※	45	32	コバナノワレモコウ	1
6	アヤメ※	27	33	コバノカモメヅル	1
7	オミナエシ※	20	34	サネカズラ	1
8	クリンソウ※	17	35	シマカンギク	1
9	ワレモコウ※	16	36	タコノアシ	1
10	ノハナショウブ※	12	37	タニジャコウソウ	1
11	ノカンゾウ※	11	38	テイカカズラ	1
12	タムラソウ※	8	39	ノウルシ	1
13	オケラ	3	40	ハシリドコロ	1
14	キキョウ	3	41	ハマナス	1
15	チマキザサ	2	42	ヒキノカサ	1
16	イカリソウ	1	43	ヒナノウスツボ	1
17	イチモンジタナゴ	1	44	ホソバオグルマ	1
18	イヌノフグリ	1	45	ミクリ	1
19	オオキツネノカミソリ	1	46	ミズオオバコ	1
20	オオチャルメルソウ	1	47	ミツガシワ	1
21	オギノツメ	1	48	ミヤコミズ	1
22	オグラコウホネ	1	49	ムラサキ	1
23	オトコエシ	1	50	モミジチャルメルソウ	1
24	オニバス	1	51	ヤマシャクヤク	1
25	カギカツラ	1	52	ヤマシロネコノメ	1
26	カザグルマ	1	53	ユリワサビ	1
27	カタクリ	1			

※保全対象種のうち、（特非）KES環境機構が取組を行っている種。

認定を受けている事業所については、以下の URL 又は二次元コードから御覧ください。

<http://ikimono-museum.com/column/culture/>

